

須賀川市立義務教育学校「**稲田学園**」学園だより

と う う ん
稲 雲

令和4年 4月12日発行

令和4年度第1号

発行者：校長 小貫 崇明



○義務教育学校2年目スタート～23名の1年生が入学～



4月6日（水）、令和4年度が始まりました。そして、稲田学園が義務教育学校となって2年目のスタートです。入学するのは1年生だけですが、後期課程に進級した7年生には、かわいい1年生と一緒に入場するお兄さん・お姉さんという形で入学式に花を添えてもらいました。



担任の先生による呼名にも元気よく返事をした23名の1年生。校長式辞を集中して聴き、「いいですか？」と問いかけると「はい！」と大きな声で返事もできました。とても立派でした。

本校は、1年生に限らず、すべての児童生徒にとって9年間の一体感と継続性をもった教育を目指す学校です。義務教育学校の利点を生かしながら、教育効果を最大限に生み

出し子どもたちの成長を支えていきます。今後も本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



○全校児童生徒数267人 ～一人一人がつながる学びを～



入学式を前に、着任式・始業式を行いました。2～9年生が体育館に整然と整列し、まず転入された先生方（裏面参照）からご挨拶をいただきました。次に、歓迎の言葉を児童生徒会副会長が発表し、最後に校歌「Home」を先生方に聴いていただきました。マスク越しでも歌声は響きました。

また始業式では、校長より①いつでも、なんどでも、だれ

にでも元気なあいさつをするという「いなだあいさつ」をしっかりとやること ②友だちと学び合うつながりを大切にしてほしいという話をしました。

全校児童生徒数は267名です。令和4年度もコロナ対応を迫られる1年になることは予想されますが、児童生徒ができるだけ充実した学校生活を送ることができるよう一人一人を見つめしっかり支援してまいります。



○今年度の教職員を紹介 します～転入者は7名です

令和3年度末に8名の先生方が転退職されましたが、令和4年度は、4月1日付けで7名の新しい職員を迎え、右の表のように39人の教職員体制で稲田学園がスタートしました。

また、この39名以外でも、外国語（英語）の指導のためのALT2名や特別非常勤講師、ボランティアなど、多くの先生方による様々な楽しい授業で、特色ある教育を展開してまいります。

○稲田学園周辺は交通事故の危険性が高いです

稲田学園周辺の道路はご存じのとおり、通勤通学の時間帯に交通量が多く、また変則交差点や見通しの悪いカーブ、坂道などの危険箇所が多いところです。



交通安全推進委員（6年生2名）の委嘱状交付を行いました。また、後期は「自転車安全利用五則」や事故を起こしてしまった場合の保険のお話しの後、実技の中で自転車乗車時の安全確認などについてわかりやすく説明していただきました。

No	氏 名	担任等	No	氏 名	担任等
1	小貫 崇明	校 長	21	川崎 さと子	養護教諭
2	星 彰	副校長	22	窪木 美香	養護教諭
3	★大河原 康隆	教 頭 富岡二中より	23	上遠野 節子	栄養技師
4	諏訪 信一	教務主任	24	佐藤 榛袈	主 事
5	長谷川 雅彦	教務主任	25	芳賀 祐子	主 査
6	関 健治	主幹教諭 1年担任	26	國井 和子	非常勤講師
7	酒巻 貴美代	2年担任	27	紺野 絵梨子	非常勤講師
8	★渡部 愛美	3年担任 新採用	28	★三瓶 まりか	非常勤講師 新採用
9	渡邊 佳央里	4年担任	29	斎藤 恵子	用務員
10	野崎 三恵子	5年担任	30	佐久間 美子	調理員
11	橋本 倫一	6年担任	31	矢内 薫	調理員
12	吉田 茂樹	7年主任 担任	32	★大河原美喜子	調理員 西袋二小より
13	松本 弘子	わかばき担任 7年副主任	33	室井 ミドリ	調理員
14	★深谷 泰良	7年副担任 新採用	34	新田 鶴代	学校司書
15	安田 明美	8年主任	35	大野 千恵	支援員
16	前田 誠	8年担任	36	伊藤 裕子	支援員
17	★佐藤 亮介	8年副担任 新採用	37	★有馬 久美子	心の教室相談員 稲田公民館より
18	会田 万紀子	9年主任	38	高橋 路子	スクール カウンセラー
19	尾形 雅信	9年1組担任	39	赤塚 玲	スクール サポートスタッフ
20	佐久間百仁加	9年2組担任			

★印は転入者

4月11日（月）には、前期課程と後期課程に分けて交通安全教室を実施しました。講師には稲田駐在所のおまわりさん、市交通教育専門員の方々、交通安全協会稲田分会長さんをお迎えし、前期は安全な登下校についてお話をいただいた後、

★言葉と生きる(1)「わからないことを問い続ける『こころの体力』、これが『知恵』や『賢さ』を持つためには重要だ」

今年度になってすぐに、2年生の授業を見に行ったら気がついたことがあります。1年生の時は、考えることにすぐに飽きてしまって集中できなくなる子が多かったのですが、今年の2年生は、先生から出された課題を一生懸命、それもかなり粘り強く考えています。そんな姿を見て思い出した言葉を取り上げてみました。

ノーベル賞をとるような偉大な科学者も、大リーグで活躍する大谷選手のようなアスリートも、ショパンコンクールで入賞するようなピアニストも、この『こころの体力』がある人なのではないかと思っています。そして、この『こころの体力』を身につけさせるために、学校では子どもの心に火をつけるような楽しく好奇心をくすぐる授業が重要なのです。